

令和8年度(2026年) 院内教育計画

目的: 埼玉県立精神医療センター看護部の理念に基づき、看護職員の教育計画の立案・各研修の企画・実施・評価を行うとともに各看護単位が実施する分散教育との連携を図り、質の高い看護職員を育成する。

目標: 1 精神科看護実践に必要な能力を習得し、患者の状況変化と個性を踏まえた看護実践ができる。

2 各看護単位と関係部署との連携を図り、効果的な研修が実施でき、看護実践に反映できる。

3 看護を取り巻く諸問題について、総合的な判断能力を養い問題解決ができる看護師を育成する。

	研修名	日程と方法	対象者	講師	目的・目標
レベル I	新採用者全体 オリエンテーション	4月 講義・演習 ●ラーニング	新採用者 転入者	病院長・副病院長 看護部長・副部長 看護師長・副師長 主任看護師 セーフティマネージャー 他	センター・看護部の概要を理解し、職場に適應できる 1)センターの組織・事業の概要を理解する 2)看護部の組織と業務の概要を理解する 3)センター内の他部門の役割・業務と看護業務との連携について学ぶ 4)看護業務に必要なマニュアル等について理解する 5)日常業務に必要なオーダーリングシステムについて理解できる
	看護技術研修 1 採血 2 輸液準備 3 与薬 4 記録	4月 講義・演習 ●ラーニング	新採用者	医療安全リンクナース 主任看護師	精神科の処置、技術について習得し、看護実践に活かすことができる 1)看護手順やガイドラインに沿って、基本的な看護技術を用いて実践できる
	看護過程	7月 講義	新採用者	主任看護師	精神科看護実践に必要な情報・アセスメントの視点を理解し、看護計画立案に生かすことができる 1)情報収集と分析・問題の抽出・看護計画に至る看護過程の展開を理解する
	看護管理 I	6月	新採用者	看護師長	社会人・職業人としてセンターの組織を理解し、自覚ある行動と責務を果たすことができる 1)チームメンバーの一員としての役割を理解し、責任を持って行動できる 2)患者・家族・同僚とよりよい人間関係づくりを学ぶ 3)医療サービスの仕組みを理解する
	看護倫理 I	9月 講義・GW	新採用者	認定看護師	相手を尊重した言動やプライバシーの保護を意識した行動がとれる 1)障がい者虐待防止法について理解できる 2)看護者の倫理綱領が理解できる 3)ケースについて倫理的視点で考えることができる
	医療安全 I	9月 講義	新採用者	セーフティマネージャー	院内の事故防止について、マニュアルに沿った看護実践ができる 1)インシデントとアクシデントを理解し報告できる 2)組織の一員として医療安全を考えられる 3)自己のリスクアセスメントの傾向を知り、事故防止に役立てる
	感染管理 I	4月 講義・演習 ●ラーニング	新採用者	感染対策リンクナース	院内の感染防止について、マニュアルに沿った看護実践ができる 1)感染防止のための知識が習得できる 2)標準予防策を理解し実施できる
	新採用者 フォローアップ 研修(3・6・12ヶ月)	7月・10月・1月 GW	新採用者	看護部長・副部長	悩みや疑問を共有するとともに、看護師として成長している自分を認識することができる 1)グループワークを通して、看護師として成長している自分を認識できる 2)12ヶ月研修では、看護実践を振り返り、自己の成長と1年で獲得した看護に対する考え方、2年目の実践目標を認識できる (レベル I 認定課題レポート提出)
	フィジカル・アセスメント	7月 院外研修	新採用者	院外研修 (埼看協)	フィジカルアセスメントに必要な知識・技術を理解できる 1)フィジカルアセスメントを理解する 2)症状・徴候からのアセスメントを理解する 3)身体機能別のアセスメントを理解する
	救急看護 I	10月 OJT	新採用者	BLS 取得者	患者急変時の初期対応とチームメンバーとして適切な対応ができる 1)救急看護の基本が理解できる 2)急変時に必要な看護技術を身につけることができる 3)救急看護・心電図
	プライマリーナース 育成研修	1月	新採用者	主任看護師	プライマリーナースの役割を理解し看護実践に活かすことができる 1)プライマリーナーシングを理解する 2)プライマリーとしての役割を知る

レベルII	看護管理II	10月	レベルII認定をめざす人	看護師長	組織の一員としての役割を理解し、メンバーシップを発揮することができる 1)組織の一員としての役割を理解し、主体的に取り組むことができる 2)メンバーの役割を理解し主体的に行動できる。 3)病院経営の仕組みを理解できる(診療報酬など)。
	看護倫理II	10月 講義・GW e-ラーニング	レベルII認定をめざす人	認定看護師	自己の行動に責任を持ち、患者・家族の立場に立った倫理的配慮ができる 1)看護倫理について理解し、臨床現場で起こる倫理的問題に気付くことができる 2)精神科特有の倫理的問題を理解できる 3)患者を尊重した看護実践ができる
	医療安全II(KYT)	11月 講義・GW	レベルII認定をめざす人	セーフティマネージャー リスクマネージャー	受け持ち患者の看護実践に責任を持ち、受け持ち看護師の責任を遂行できる 1)日々の業務の中でインシデントKYTが実施できる 2)精神科特有の事故防止に向けた環境を整えることができる
	感染管理II	9月 -	レベルII認定をめざす人	感染管理認定看護師(院外)	標準予防策を理解し、必要な技術を習得することができる 1)感染症の基礎知識について理解できる 2)感染経路別予防策を習得し、実践できる。
	アサーショントレーニング	10月 講義	レベルII認定をめざす人	認定看護師	自分・相手双方を大切に自己表現(アサーショントレーニング)を学び、医療・看護の場で円滑な人間関係形成に生かすことができる 1)精神科看護に活かせるアサーショントレーニングの知識を得る
	プリセプターシップ研修	院外研修	レベルII認定をめざす人	院外研修(埼看協)	プリセプターとしての役割を知り、新人看護師が職場適応できるための支援方法を学ぶ 1)新人看護師の特徴を知り、プリセプターの役割と指導の実際を知る 2)信頼されるコミュニケーションの工夫を知り、メンタルサポート支援に活かすことができる
レベルIII	看護管理III	9月 講義・GW	レベルIII認定をめざす人	看護師長	チームリーダーの役割機能を理解し、リーダー業務に活かすことができる 1)リーダーナースの役割を理解し、所属部署においてリーダーシップを発揮できる 2)看護単位内における係としての役割を理解し、責任を持って遂行できる 3)看護単位の患者状況を見ながら個人・チームの業務配分ができる 4)病院経営の仕組みと看護実践との関連性を理解する
	看護倫理III	6月 講義・GW	レベルIII認定をめざす人	認定看護師	倫理的問題について患者・家族を尊重した対処ができる 1)患者の人権を尊重した看護実践ができる 2)看護実践の中で起こる倫理的問題について問題提起することができる
	医療安全III(RCA)	5月 講義・GW	レベルIII認定をめざす人	セーフティマネージャー	自己のインシデントを分析し、再発防止対策を考え実践することができる チームリーダーの役割機能の理解し、リーダー業務に活かすことができる 1)看護単位のインシデントの分析を行い、再発防止策を考え実践できる 2)予見に基づいた事故防止行動がとれ、メンバーに指導できる
	感染管理III	7月 講義・GW e-ラーニング	レベルIII認定をめざす人	感染管理認定看護師(院外)	具体的な感染防止対策を学び実践できる 1)感染経路別予防策の考え方を理解できる 2)院内で問題となる感染症について臨床現場に結びついて理解できる 3)自部署における感染対策の課題について考えることができる
	看護観研修	5月 講義・GW	レベルIII認定をめざす人	看護師長	現在までの看護への取り組みを通して、自分自身の看護観を明らかにし整理することができる 1)看護実践を通して「私にとって看護とは何か」を明らかにし、発展的な職業観形成の一步にできる
レベルIV	看護管理IV	5月 講義・演習	レベルIV認定をめざす人	看護副部長	所属する看護単位において他職種と連携しリーダーシップを発揮できる 1)病院経営の仕組みと看護の課題を明確にする 2)PDCAサイクルを理解し、各看護単位の業務改善に取り組むことで、リーダーシップ能力を高める。 3)中堅ナースとして、各看護単位でリーダーシップを発揮し、責任ある行動がとれる
	看護倫理IV	5月 講義・演習	レベルIV認定をめざす人	認定看護師	倫理的問題について医療チームと連携をとり対処できる 1)倫理的視点に基づき看護実践を深め発展させることができる 2)倫理的問題の分析方法が分かる
	医療安全IV(ImSafer)	7月 講義・演習 -	レベルIV認定をめざす人	セーフティマネージャー	1. 看護単位における事故防止対策に取り組み、リーダーシップを発揮できる 2. 所属する看護単位で、専門的な能力を必要とされる役割、また指導的な役割を遂行できる 1)リスクマネジメントを推進するため、問題提起・解決策の提案ができる 2)マニュアルに沿って行動・報告できる

法人主催研修	コンフリクト・マネジメント【概要編】	9月 講義	レベルⅣ認定 をめざす人	院外講師	コンフリクト・マネジメントの概念を理解し、看護実践・職員との関わりの中で活用することができる
	看護管理	6月 講義・GW	レベルⅣ認定 をめざす人	院外講師	タイムマネジメントを学び、リーダーシップに活かすことができる
	臨床倫理	10月 講義	レベルⅣ認定 をめざす人	院外講師	臨床倫理を学び、倫理的課題に取り組むことができる
レベルⅤ	看護管理Ⅴ	5月 講義・GW	レベルⅤ認定 をめざす人	看護副部長	所属する看護単位に留まらず、看護部や多職種と連携し、管理的視点をもってリーダーシップを発揮できる 1)組織の理念・目標から看護管理者としての役割を理解し看護師長の代行としての役割が果たせる 2)組織分析手法を学び、各看護単位の課題を見出すことができる 3)課題に対し、看護管理の視点で看護実践し評価することができる 4)地域で求められる病院の役割を理解し、各看護単位の課題を明確にする
	看護倫理Ⅴ (倫理推進者研修)	7月 講義・演習	レベルⅤ認定 をめざす人 倫理推進者	院外講師	各看護単位において倫理を推進できる 1)倫理的問題の分析方法を活用できる 2)倫理カンファレンスを実施、評価できる
	法人主催研修	コンフリクト・マネジメント【事例対応編】	7月 講義・GW	レベルⅤ認定 をめざす人	院外講師

(精神科専門研修)

	研修名	日程と方法	対象者	講師	目的・目標
導入研修	精神科看護初任者研修	4月 院外研修	新採用看護師 転入者 レベルⅠ受審 必須研修	院外講師 日精看(埼玉)	精神科看護に従事する初心者を対象に、精神科看護実践に必要な基礎的知識・技術・態度を学ぶ 1)精神疾患・治療の理解 ②精神医療の歴史と課題 2)精神科患者の人権と法 ④精神科における倫理課題
ベーシック研修	包括的暴力防止プログラム研修	5月 講義・演習	全員	院内講師 CVPPP 取得者	暴力を受けないための対応や技術を体験し、看護実践に活かすことができる 1)CVPPP の理論を理解できる。 2)ブレイクアウェイやチームテクニクスを体験し、暴力防止のための安全な回避方法や身体介入方法を学ぶ。
	人間関係論	10月 講義	レベルⅠ受審 必修研修	院外講師	根拠に基づいた看護実践の提供を目的に、精神科看護の基礎的な理論を学ぶ
	発達理論	9月 講義・GW	レベルⅡ受審 必須研修	認定看護師	人間の発達に関する理論を学び、対象を理解した看護実践ができる 1)各期における成長・発達の特徴や発達課題を理解する 2)事例を通して対象者および家族への関わりについて理解できる 3)発達理論を基盤とした、対象者のアセスメントが実践できる
	精神科看護におけるファシリテーション	9月 講義・GW	レベルⅢ受審 必須研修	認定看護師	精神科看護師としてファシリテートする上でのスキルを向上し、看護実践に活かすことができる 1)ファシリテーターの基礎知識(理論)を理解できる 2)ファシリテーターの役割を体験できる
	ストレングス・リカバリーモデル	11月 講義・ GW		認定看護師	ストレングスやリカバリーを理解し、看護実践に活かすことができる 1)ストレングスモデルの総論を理解することができる
	認知行動療法	11月 講義・ 演習		認定看護師	認知行動療法を実践する上で、必要となるコミュニケーションを習得する 1)精神科看護の場面で認知行動療法の技術を活用できる
アドバンス研修	専門・認定看護師 企画・運営研修	2月	全員	認定看護師	根拠に基づいた看護を提供するため、精神科の看護実践に共通する基礎的な知識(理論)を学ぶ

(看護職員全体研修)

研修名		日程と方法	対象者	講師	目的・目標
卒後2年目 フォローアップ		7月・12月 院外研修 GW	新卒2年目	看護部長・副部長 教育委員	1)2年目看護師の役割と責任について自覚し、生き生きと活動できる 2)グループワークを通して、自己の成長を実感できる
看護部 認定 制度	静脈注射	講義・演習 5・6・7月	卒後 2年目以上	教育委員	静脈注射の安全な実施に関する基本的知識および技術を習得する 1)看護師による静脈注射実施の法的解釈を知り、看護師が行う範囲・状況について理解する 2)与薬方法としての静脈注射の特性・危険性を理解する 3)静脈注射を安全に実施する
	行動制限最小化に関する 認定制度研修	5月～2月 講義・演習	レベルIV認定者	教育委員会 認定看護師 倫理推進者 行動制限最小化認定者	自部署における行動制限最小化に向けた看護実践ができる 1)精神保健福祉法に基づいた倫理的課題を理解できる 2)自部署における行動制限最小化に関する課題を問題提起できる 3)他者とのディスカッションを通して、問題解決への方策を見出すことができる
救急看護推進者育成 研修		6月 講義、演習	救急看護推進者 BLS 取得者	BLS・ACLS 取得者	各看護単位における救急看護を推進できる 1)各看護単位で救急トレーニングを推進するための知識・技術を修得できる 2)急変時のチーム対応のスキルを身につける
看護実践・研修 報告会		1月	看護職員全員	各部署代表者	他部署の取り組みや他社の研修報告を聞き、自身の知識を深め取り組みに活かす 1)研修を共有し、知識を得る。今後の研修参加の参考に 2)研修で得た学びを看護実践と統合し、発表することができる 3)発表者は自らの学びを伝達する事でプレゼンテーション能力を養う
トピックス研修		未定	看護職員全員	未定	看護の課題や動向に関する最新の情報や知識を学ぶ

(看護研究)

研修名	日程と方法	対象者	講師	目的・目標
看護研究	4月～3月	看護職員全員		1)看護研究を行うにあたり、基礎的な知識を学ぶ
看護研究指導	プロセス指導 4月～1月	看護研究取組者	院外講師	1)精神科看護の臨床現場で看護研究に取り組む意味を理解する 2)看護研究のプロセス指導を参考に、看護研究をまとめることができる
看護研究発表会	2月	看護職員全員	院外講師	1)当該年度に取り組んだ看護研究の成果を発表し、視点を広げるとともに、センター内研究発表会に向けて発表内容の充実を図る